

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 河北町社会福祉協議会

目 次

1. 概 要	1
2. 事業推進項目	3
I. 社会福祉事業(事業区分)	3
① 法人・地域福祉事業(拠点区分)	3
(サービス区分)	
1 法人運営	3
2 共同募金配分金事業	11
3 生活福祉資金貸付事業	13
4 心配ごと相談事業	13
5 善意銀行	13
6 福祉サービス利用援助事業	13
7 たすけあい資金貸付事業	14
8 河北町戦没者追悼式・平和記念式業務	14
9 福祉のまち育成事業	14
10 緊急通報体制等整備事業	15
11 河北町高齢者寝具乾燥消毒サービス事業業務	15
12 河北町生きがい活動支援通所事業	16
13 河北町家族介護者交流事業	16
14 河北町意思疎通支援事業業務	16
15 介護予防実践事業業務	17

② 介護事業(拠点区分)	18
(サービス区分)	
1 指定居宅介護支援事業	18
2 指定訪問介護事業	19
3 指定居宅介護事業	20
II. 公益事業 (事業区分)	21
③ 地域福祉事業 (拠点区分)	21
(サービス区分)	
1 社会福祉協議会福祉バス運営事業	21
2 河北町福祉バス運行業務	21
3 河北町総合福祉センター管理	21
4 婚活支援事業	21
④ 地域包括支援 (拠点区分)	23
(サービス区分)	
1 河北町地域包括支援センター業務	23
河北町地域包括支援センター事業報告	23
その他の事業	
1 日本赤十字社河北町分区	28
2 山形県共同募金会河北町共同募金委員会	28
別紙1 心配ごと相談所事業報告	29
別紙2 たすけあい資金の貸付事業報告	30
別紙3 1 福祉バス運営事業・福祉バス運行業務	31
2 河北町総合福祉センターの指定管理	31

令和6年度 社会福祉法人 河北町社会福祉協議会事業報告

1. 概要

本法人は昭和40年4月20日に設立され、今日まで幾多の課題に直面しながらも、先人のたゆまぬ努力により地域福祉の推進に取り組んできました。

令和6年度は、第5期河北町地域福祉活動計画の基本理念「おたがいさまの心 住みつづけたい町づくり」の実現と地域福祉活動の推進を図り、町民が健康で安心して地域で暮らせるように、引き続き互いに支え合う地域づくりに取り組みました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ引き下げられましたが、これまで経済活動が大幅に制限され、急速な景気の悪化は生活困窮者や就労困難者を増加させ、外出自粛により心身に不調を来す人も増え、地域での見守りや支え合い、新たな生活様式に沿った支援などの課題が生じました。本協議会の事業活動もさまざまな制限を受けましたが、町の動向や地域住民の思いを考慮しながら、事業活動を展開してきたところです。

閉じこもりの長期化は、特に高齢者の体力低下や社会的孤立が危惧されています。このような中、一人暮らし高齢者交流会事業は、社会的孤立の防止と交流を目的に、感染症に配慮しつつ、昼食を伴う1日の交流会を開催しました。そして、令和6年度から引き続き5年間の指定管理を受けた総合福祉センターを利用して、介護予防を目的とした生きがい活動支援通所事業や介護予防実践事業についても実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、生計維持のために緊急小口資金等の特例貸付を受け、特に支援が必要な借受人に対しては、関係機関と連携して生活再建に向けたフォローアップ支援を継続して行いました。また、生活困窮や暮らしの困りごとへの相談支援、必要な社会資源へつなぐ対応を随時行い、生活困窮者支援として食品の無償提供をする取り組みを行いました。

少子高齢化が進む中、地域コミュニティの充実を図り、見守り、助け合いや支え合いが行われる地域づくりを進めて

いくうえで役割が大いに期待される福祉推進員については、普及充実に努めました。そして、少子化対策の一環として、町と連携し、結婚を望む独身男女に出会いの機会を提供できるよう婚活イベントを夏冬2回開催しました。

また、地域に出向き、介護予防や介護保険制度等といった福祉に関する理解と地域福祉を推進するため、福祉出前講座を実施しました。

令和2年の豪雨災害を教訓にした災害ボランティアセンターの設置訓練は、オンライン動画配信によるアウトリーチに焦点を置いた研修会を視聴し、改めて災害ボランティアセンターの役割を学ぶとともに、被災者に寄り添う支援を確認し合いました。また、7月25日からの庄内・最上を中心とした大雨等災害では、広く町民に呼びかけをしてボランティアバスを運行しての被災地支援と災害ボランティアセンターへ本協議会職員を派遣し運営支援を行いました。そして、ボランティア活動の重要性や意義が高まっている中、非常食など災害への備えや防災を学ぶボランティア講座を開催し、ボランティア活動の社会的気運醸成を図りました。

12月に入ると近年の暖冬とは打って変わった大雪に見舞われ、特に高齢者世帯などは大きな負担が強いられました。地域での支援が必要な方の除雪のため、ボランティアのスノーバスターズが例年以上に活動を行いました。

高齢者が安心して地域で暮らせるよう、地域包括支援センターを引き続き受託するとともに、感染リスクの高い利用者や家族の方の生活を守るため、感染対策に最大限取り組み、研修も実施しながら感染対策の実践と遵守に努めながら、居宅介護支援事業所と訪問介護事業所を運営しました。高齢化が進行する中、介護サービスを安定的に提供していくためには、介護人材の確保は最も重要な課題です。人材確保に向け、国の介護職員処遇改善支援補助金等を活用し介護職員の処遇改善を実施しました。そして、町内で開催されている高齢者等の「通いの場（通所型サービスB）」（居場所）利用者に対する移動支援の調整役として、町内3介護施設と連携し送迎支援を新たに行いました。

令和6年度は、人口減少や高齢化の進展と地域コミュニティが低下する中、住民主体の地域福祉活動と地域の福祉力を育み、高めていくための基盤づくりと関係機関・団体等との協働活動に継続して取り組んでまいりました。

以下、事業の実施業況について、事業推進項目区分毎に報告します。

I. 社会福祉事業(事業区分)

① 法人・地域福祉事業 (拠点区分)

項 目 (サービス区分)	内 容	支出決算額 単位：円
1. 法人運営	1) 法人運営 2) 理事会、評議員会等の開催 ○理事会の開催 第1回理事会 5月30日 議第1号 事務局等設置規程の一部改正について 議第2号 令和5年度事業報告の承認について 議第3号 令和5年度収支決算の承認について 監査報告 議第4号 令和6年度第1回収支補正予算について 議第5号 評議員の選任候補者の推薦について 議第6号 理事候補者の推薦について 議第7号 令和6年度第1回評議員会の開催について 第2回理事会 6月14日 議第8号 副会長の選定について 議第9号 評議員の選任候補者の推薦について 第3回理事会 9月19日 議第10号 経理規程の一部改正について	29,472,754

	議第 11 号 社会福祉功労者の表彰について 第 4 回理事会 3 月 2 0 日 議第 12 号 職員給与規程の一部改正について 議第 13 号 嘱託職員等就業規則の一部改正について 議第 14 号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 議第 15 号 令和 7 年度会費の拠出額について 議第 16 号 令和 7 年度事業計画について 議第 17 号 令和 7 年度収支予算について 議第 18 号 令和 6 年度第 2 回評議員会の開催について ○評議員会の開催 第 1 回評議員会 6 月 1 4 日 議第 1 号 令和 5 年度事業報告の承認について 議第 2 号 令和 5 年度収支決算の承認について 監査報告 議第 3 号 令和 6 年度第 1 回收支補正予算の承認について 議第 4 号 理事の選任について 第 2 回評議員会 3 月 2 8 日 議第 5 号 令和 7 年度会費の拠出額について 議第 6 号 令和 7 年度事業計画について 議第 7 号 令和 7 年度収支予算について ○三役会議 毎月 1 回	
--	---	--

	○監事会 ・決算監査 5月22日 ・中間監査 12月24日 3) 本会活動の広報、啓発のため「かほく福祉だより」やパンフレット等の発行並びにホームページやフェイスブックを利用した情報発信 イ. 「かほく福祉だより」 3回(6、12、3月) 6,200部発行 ロ. ホームページ、フェイスブックによる情報発信 随時 4) 財源基盤の確立のため、会員の確保、拡大 一般会費 4,888件 5,865,600円 賛助会費 3件 7,500円 ○寄附金等の受領 なし 5) 県、町、県社協など関係機関との連絡調整 6) 職員研修の実施 7) スノーバスターズ事業 一人暮らし高齢者等の通路の除雪支援を除雪機やスコップ等により行うボランティア組織・スノーバスターズ隊の事業 1月11日(土)に結団式(操作訓練)を行い、22人で編成、出動は13回。 8) 結婚相談所の開設 結婚相談員により、毎週の結婚相談所の開設のほか、研修会及びむらやま婚活ネットワーク「むらやま仲人ネット」へ参加するなど、少子化対策を関係者と連携して進めた。	(会費収入 5,873,100)
--	---	-----------------------------

	開設日…… 第1、第2、第3火曜日は、「どんがホール」で 午後6時30分～8時30分夜間開催。 偶数月の第4日曜日は、完全予約制「総合福祉センター」で 午後1時30分～4時開催。 ・毎月第1水曜日は、全体会として情報交換を行った。 ・事業 7) 結婚相談所（R7.3.31現在） ・登録者数 22人（内、河北町民 12人） ○男 13人（内、河北町民 7人） ○女 9人（内、河北町民 5人） ・相談件数 35件 ・紹介件数 38件 ・お見合い件数 18件 ・現在交際中 3件 ・結婚成立数 2件 イ) むらやま婚活ネットワーク「むらやま仲人ネット」 毎月1回開催される情報交換会へ参加し、近隣市町の仲人と情報交換を図った。 ウ) むらやま広域婚活事業実行委員会 村山地域の若者の交流を促進するため、管内の市町や民間団体、NPO等と連携し広域で村山地域の独身男女の出会いの場を創出する事業を行った。 （実行委員会へ加盟） エ) 山形連携中枢都市圏婚活推進事業	
--	--	--

	連携市町またはその関連仲人が保有する結婚希望者の情報を交換する情報交換会へ参加し、仲人等と情報交換を図った。 9) 福祉功労者の表彰 第16回ボランティアフェスティバルの際に表彰を行った。 11月9日(土) 河北町総合福祉センター 2階 ・民生委員児童委員功労者 3人 ・地域社会福祉事業功労者 1人 ・模範介護人 1人 計 5人 10) 各地区やすらぎ推進会議助成 やすらぎ警報器の設置者と警報の受信者協力者の連携推進を図るため、各地区の推進会議に助成支援を行った。 ・溝延地区 11月29日(金)交流会開催 ・北谷地地区 3月 3日(月)交流会開催 ・西里地区 物品配布による訪問活動 ・谷地地区 物品配布による訪問活動 11) 長寿(白寿)絵手紙の配布 長寿の方24人に絵手紙を配布した。 12) 各種団体助成 各団体の地域福祉事業の推進のため助成支援を行った。 《助成団体》 ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会 ・身体障害者福祉協会 ・遺族連合会 ・手をつなぐ育成会	
--	---	--

	13) ボランティア連絡協議会 ボランティア連絡協議会の事務局として、加盟団体の支援を行うとともに、ボランティアの日の事業やボランティアフェステバルに参加するなど各団体の連携を図った。 《加盟団体数》 19 団体 ・ 総会 8 月 8 日（木） ・ ボランティアの日……河北中央公園での清掃ボランティア 受付を加盟団体用と一般用に分け、参加加盟団体においては事前に参加者名簿をいただいた。 9 月 8 日（日） 午前 6 時～午前 7 時 参加者数 142 名 14) 火災予防の指導 15) 友愛訪問事業 要介護 4 及び 5 の要介護認定を受けている方等（H31 年 3 月友愛訪問対象者を含む）に、月 1 回の訪問活動を民生委員児童委員を通じて行い、安否確認や家族の激励を行った。その折、ゴミ袋などの生活用品や絵手紙を届け支援した。 延べ訪問者数 723 人（月平均 60 人） 16) 福祉推進員の設置 各区に福祉推進員の設置を目指し、第 8 期の福祉推進員を委嘱した（任期：令和 5.4.1～令和 7.3.31）。福祉推進員の資質向上のため、調査研究や情報提供、研修を進めた。また、町の助成を受けて、活動費を支給した。	
--	---	--

	・委嘱状交付式 5月28日(火)福祉推進員への委嘱状交付(新任者のみ対象) 設置区数…83区 福祉推進員数…121人 ・研修会 ・第1回研修会 5月28日(火) 制度概要と対象者について(事務局説明) ・第2回研修会 3月12日(水) 講演 「高齢者の消費者トラブル～高めよう、見守り力～」 講師 山形県消費生活センター 消費生活相談員 佐藤 静香 氏 17)社協会長杯ゲートボール大会の開催 ・1月31日(金)河北町交流館 遊蔵 ・参加 4チーム 18)社協会長杯グラウンドゴルフ大会の開催 ・9月6日(金)河北べにばなグラウンドゴルフ会場 ・参加者 48人 19)ボランティア作文表彰 第16回ボランティアフェスティバルの際に表彰を行った。 ・小学生部門 優秀賞 1人、優良賞 2人、佳作 5人 ・中学生部門 優秀賞 1人、優良賞 2人、佳作 3人 ・高校生部門 優秀賞 1人、優良賞 2人、佳作 5人	
--	--	--

	20) 歌声喫茶「すこやか広場」の開催 講師：永井勉氏 毎月第2火曜日開催 年間各12回 午前の部 受講生 30人 午後の部 受講生 26人 ※茶菓子の代わりにお茶のペットボトルを配布。 21) 絵手紙教室 講師：石川吉晴氏 年間12回 毎月第2木曜日午前開催 受講生 33人 ※茶菓子の代わりにお茶のペットボトルを配布。 22) 歌謡教室「すこやか広場」への支援(H26.4.1より自主教室として支援) 月2回開催している歌謡教室を支援した。 (4月18日開講、毎月第1・3木曜日開催、年間27回開催) 23) 災害ボランティアセンター ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 河北町総合防災訓練に併せて実施予定していたが、中止となった為独自で実施した。 3月25日(火) 河北町総合福祉センター オンライン動画配信による災害ボランティアセンター運営研修会を視聴 (主催:山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会・山形県社会福祉協議会) ・災害ボランティアセンター備品等の整備	
--	---	--

	24) リサイクル情報の開示 不用品活用バンク登録開始のお知らせをホームページに掲載した。 25) 食の支援事業 寄付等でいただいた食品を生活困窮者へ提供した。 26) 福祉出前講座 講話等を実施し、町民の福祉に関する理解と地域福祉を推進した。 実施回数：5回	
2. 共同募金配分 金事業	1) 一般募金配分金事業 (1) 一人暮らし高齢者交流会事業 70歳以上の一人暮らし在宅高齢者を対象に、心身のリフレッシュや交流を図るため交流会を年2回実施したが、それぞれ案内区を2つに、2日間に分けての交流会とした。 ・第1回交流会 8月 1日（木） 参加者47人 8月 6日（火） 参加者50人 鶴岡市（加茂水族館） ・第2回交流会 10月29日（火） 参加者48人 10月31日（木） 参加者37人 置賜方面（川西ダリア園、高畠ワイナリー） (2) 子どもと高齢者のふれあい事業（伝承活動） 高齢者から子どもへ伝承する「しめ飾り作り」等を地域の高齢者などの協力を得て開催した。	1,960,818

	(3) 児童遊園遊具の整備補助 なし (4) 児童生徒ボランティアの育成 小・中学校・高等学校のボランティア活動支援のため助成を行った。 (5) 第16回ボランティアフェスティバルの開催 ボランティアの機運醸成や交流を図るため、ボランティア連絡協議会や関係団体などの協力を得て、総合福祉センターを会場に開催した。 ・ 11月9日(土) 河北町総合福祉センター2階 ・ 内 容 ◇ ボランティアセンターの研修 ・ ボランティア講演会 演題：「災害ボランティアと地域のつながり」 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 山形県自主防災アドバイザー 千川原 公彦 氏 (6) 身障者交流会の開催 身障者の心身のリフレッシュや交流を図るため平成23年度から交流会を実施。3月末にスポーツ交流会を予定していたが中止。 (7) 災害ボランティア支援事業 災害ボランティアに関わる施策の推進を図った。 2) 歳末たすけあい配分金事業 仏教会、医師会、民生委員児童委員協議会等の善意を、配分委員会を開催し、たすけあい資金を贈った。	344,580
--	--	----------------

3.生活福祉資金貸付事業	低所得者等の経済的自立と安定した生活を支援するため、町、民生委員児童委員と連携し、山形県社会福祉協議会が貸し付ける生活福祉資金の貸付相談、償還指導を行った。 また、緊急小口資金等特例貸付の借受人への支援のため、生活福祉資金フォローアップ支援員設置事業を実施した。 ・貸付資金 緊急小口資金 1件 100,000円 - 福祉費 1件 500,000円	2,262,102
4.心配ごと相談事業	心配ごと相談所の開設（電話による事前申込、時間割にて対応） ・心配ごと相談所……………毎週水曜日、心配ごと相談員による相談。 ・総合相談所……………毎月第4水曜日、弁護士、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員、行政相談委員などの専門家による相談。 ・相談概要は、別紙1のとおり	894,707
5.善意銀行	町民の善意による金品の預託を受け、地域福祉の推進を図るため、適切な活用を図った。 行路貸支給等 利用者 1名	1,000
6.福祉サービス利用援助事業	福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業） 山形県社会福祉協議会の委託を受けて、生活に不安のある高齢者や障がい者の方に、地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用契約手続きや日常的な金銭管理援助を実施した。 利用者 20人 訪問回数 288回	3,189,817

	【嘱託職員 1 名配置】【生活支援員 3 名】	
7. たすけあい 資金貸付事業	たすけあい資金の貸付相談支援 低所得者等の経済的自立と安定した生活を推進するため、町、民生委員児童委員と連携し、償還指導を行った。 ・内容については、別紙 2 のとおり	
(以降、町からの 受託事業) 8. 河北町戦没者 追悼式・平和祈 念式業務	先の大戦による戦没者等の追悼と平和を祈念する式典を河北町仏教会の協力を得て、仏式で催行した。 ※町遺族連合会（遺族、会員）にローソクの配布。 ・日 時 7 月 1 2 日(金) ・会 場 どんがホール ・参加者 約 4 0 人	300,000
9. 福祉のまち 育成事業	ボランティア活動を推進するため、ボランティア団体の育成支援やボランティア養成講座の開催などを実施した。 ○ボランティア団体の助成 ・のぞみの会 ・ピエロ（高校生ボランティア） ・手話サークル ○ボランティア講座の開催 ◆ 1 1 月 9 日(土) 河北町総合福祉センター ・参加者 約 4 0 人	1,007,000

	・内容 演題：「災害ボランティアと地域のつながり」 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 山形県自主防災アドバイザー 千川原 公彦 氏 ◆ 3月10日(月) 河北町総合福祉センター ・参加者 14人 ・内容 もしもに備えて～非常食を通じて防災を学ぼう～ENJOY BOSAI～楽しい・おいしい・オシャレ～最新の非常食と 防災グッズ 講師：防災士・防災介助士・消防設備士 有限会社西谷 西谷 友里 氏 ○ボランティア体験活動 なし	
10. 緊急通報体制 等整備事業	一人暮らし住宅高齢者等へ緊急通報装置の取り付け整備を行った。 ・新規貸付 28台 ・返却 22台 ・年度末設置数 187台	5,041,713
11. 河北町高齢者 寝具乾燥消毒サ ービス事業業務	一人暮らし高齢者、介護を要する寝たきりの方の寝具類のクリーニング代の一部を助成した。 ・利用者数 222人 ・枚数 394枚 ・内訳 布団70枚、羽毛布団42枚、こたつ布団101枚、毛布181枚	1,035,999

12. 河北町生きがい活動支援通所事業	要介護認定外の方や65歳以上で家に引きこもりがちな高齢者を対象に、週3回(月、水、金)生きがい活動を行った。 ○内容 <table><tr><td>開設日</td><td>月曜日</td><td>水曜日</td><td>金曜日</td></tr><tr><td>回数</td><td>51回</td><td>50回</td><td>51回</td></tr><tr><td>延人数</td><td>821人</td><td>530人</td><td>774人</td></tr></table> 【臨時職員2名配置】	開設日	月曜日	水曜日	金曜日	回数	51回	50回	51回	延人数	821人	530人	774人	5,939,534
開設日	月曜日	水曜日	金曜日											
回数	51回	50回	51回											
延人数	821人	530人	774人											
13. 河北町家族介護者交流事業	在宅で寝たきり等の高齢者の介護を行っている家族介護者に対し、介護相談や疲労回復を目的に日帰りの家族交流会を実施した。 ○11月15日(金)参加者 4人 ・場所 宮城県松島町 ・内容 塩釜水産物卸市場、松島離宮「おさしみ水族館」、松島島巡り観光船 ○11月22日(金)中止 ・場所 南陽市 ・内容 熊野大社参拝、最上高湯善七乃湯	69,796												
14. 河北町意思疎通支援事業業務	視覚及び音声又は言語機能障がい者の社会参加促進のため、手話通訳者、手話奉仕員及び要約筆記奉仕員の派遣、並びに手話奉仕員等の養成講座を実施した。 ○手話通訳者・手話奉仕員の派遣 72回 要約筆記者・要約筆記奉仕員の派遣 なし	2,890,579												

	※手話通訳者へ透明マスクの配布。 ○手話奉仕員の養成講座 ・期間 4月～3月 入門編・基礎編 40回 受講生 10人 ・講師 河北ろうあ部会（佐藤光一氏、角川悟氏） 【臨時職員1名配置】	
15. 介護予防実践 事業業務	「すこやか広場」を活用して、講師に小野淳子氏（フィットネスインスト楽ター）を迎え介護予防の講座を毎月第1・3火曜日に開催した。 ○前期 ベにばなコース 4月 2日～ 9月17日 参加者 40人 さくらコース 4月 2日～ 9月17日 参加者 40人 ○後期 ベにばなコース 10月 1日～ 3月18日 参加者 40人 さくらコース 10月 1日～ 3月18日 参加者 39人 ※ベにばなコース（午後）65歳～80歳未満の方 さくらコース（午前）80歳以上の方	1,287,540

2. 指定訪問 介護事業	1) 訪問介護事業	訪問介護員が、要介護又は要支援状態にある方に対し、心身の特性に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅での介護や援助を行う事業	35,755,064										
		○サービス対象者数 54人／月平均	(予防訪問も含む)										
	2) 介護予防・日常生活支援総合事業		(介護報酬										
		○サービス対象者数 12人／月平均	33,241,156)										
	3) すこやか支援事業												
	介護保険対象外の実費サービス												
	○サービス対象者数 8人／月平均												
	4) 介護職員処遇改善加算												
	介護報酬の18.2%が加算された。												
	◎利用実績												
	<table><tr><td>訪問介護 利用者数</td><td>介護予防・日常生活支援総合事業</td><td>すこやか支援事業</td><td>計</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>650人</td><td>149人</td><td>100人</td><td>899人</td><td>1.03</td></tr></table>			訪問介護 利用者数	介護予防・日常生活支援総合事業	すこやか支援事業	計	対前年度比	650人	149人	100人	899人	1.03
訪問介護 利用者数	介護予防・日常生活支援総合事業	すこやか支援事業	計	対前年度比									
650人	149人	100人	899人	1.03									
	【職員2名、嘱託職員2名、パート登録職員14名配置】												

3. 指定居宅介護事業	1) 指定居宅介護事業（障がい福祉サービス事業） 訪問介護員が、身体障がい又は知的障がい、精神障がいを持つ方に対し心身の特性に応じ自立した日常生活ができるよう、在宅での介護や援助を行う事業 ○サービス対象者数 10人／月平均 2) 福祉・介護職員処遇改善加算(障がい福祉サービス) 居宅介護報酬の34.7%が加算された。 ◎障がい福祉サービス事業 利用実績 116人 【職員2名、嘱託職員2名、パート登録職員14名配置】 ●訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業、障がい福祉サービス事業 <table><tr><td>総サービス提供時間</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>9,699</td><td>0.99</td></tr></table>	総サービス提供時間	対前年度比	9,699	0.99	5,422,094
総サービス提供時間	対前年度比					
9,699	0.99					
	各事業所とも町民から広く支持信頼を受けるよう ・各種研修会（オンライン）等への積極的な参加 ・より質の高いサービスの提供 ・対象者からの要望等に対する適切な対応 ・各種イベントなどの会場における事業所の広報、PR活動の実施を心掛け、介護保険サービス事業及び障がい福祉サービス事業の展開を行った。					

Ⅱ．公益事業（事業区分）

③ 地域福祉事業（拠点区分）

項 目 (サービス区分)	内 容	支出決算額 単位：円
1. 社会福祉協議会福祉バス運営事業	社会福祉協議会の福祉バス1台の運行を町の補助を受け行った。 詳細は、別紙3のとおり 【嘱託職員（運転手）1名、パート職員（運転手）1名配置】	3,000,000
2. 河北町福祉バス運行業務	町の福祉バス1台の受託運行を行った。令和4年3月より、新車両（リース車）となった。 詳細は、別紙3のとおり 【嘱託職員（運転手）1名、パート職員（運転手）1名配置】	4,199,592
3. 河北町総合福祉センター管理	町の指定を受けて、総合福祉センターの指定管理業務を行った。 介護予防拠点「すこやか広場」の活用のため広報を行い、広く一般利用を図った。 なお、福祉センターの清掃業務の一部をNPO法人ひだまりの家かほくに委託している。（週2回、半日） 詳細は、別紙3のとおり	8,032,282
4. 婚活支援事業	「婚活支援コーディネーター」を設置し、町や関係機関との連絡調整及び協力をしながら、結婚の推進に関し助言を行い、情報の収集及び提供を行った。 ○相談日の開設 結婚相談所の運営に協力し、偶数月の第4日曜日に完全予約制で行われる相談日を設け、結婚相談員と連携を図った。	1,284,000

	偶数月第4日曜日の利用 8月 1回利用 ○婚活イベントの開催 ◆イベント名：第3回お見合いみたいなマッチングC a f e 期日：7月6日（土）サハトベに花 2階全天周劇場 参加者：男性8名、女性8名 マッチング数：1組 ◆イベント名：第4回お見合いみたいなマッチングC a f e 期日：2月15日（土）サハトベに花 2階全天周劇場 参加者：男性7名、女性8名 マッチング数：2組 ○研修会への参加 ・10月17日（木）やまがたハッピーサポートセンター事業説明会 ・11月18日（月）「やまがた縁結びたい」スキルアップ講座 （村山地域ボランティア仲人の育成研修会） 【非常勤職員1名配置】	
--	---	--

④ 地域包括支援(拠点区分)

項 目 (サービス区分)	内 容	支出決算額 単位：円
1. 河北町地域包括支援センター業務	町の委託を受けて、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種の職員を配置し、地域包括支援センターの管理業務を行った。 地域包括支援センターは、地域住民(高齢者)の保健・医療・福祉の向上のため、総合相談、虐待防止、介護予防マネジメント、認知症高齢者支援などを総合的に行った。 ○見守り対象一人暮らし高齢者数 810人(令和6年4月1日現在) ○介護予防サービス計画策定件数 104人/月平均 ○介護予防ケアマネジメント計画策定件数 77人/月平均 詳細は、別紙のとおり また、高齢者の生活支援、介護予防サービスの体制整備を推進することを目的に生活支援コーディネーター業務を町から委託を受けて実施した。 新たな取り組みとして、11月から「居場所」利用に係る移動支援として「通いの場(通所型サービスB)」「(居場所)の利用者と協力者である介護施設との利用調整等を行った。 【職員4名・嘱託職員1名・臨時職員2名配置】	38,874,817

令和6年度 河北町地域包括支援センター事業報告

1 包括的支援事業

(1) 介護予防ケアマネジメント

① 指定介護予防事業

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
件数	98	99	99	103	103	108	108	110	109	107	104	104	1,252

② 第1号介護予防支援事業

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
ケアマネ A	84	83	83	82	79	76	76	66	74	73	71	72	919
ケアマネ B	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

介護予防ケアプラン評価

評価件数	408
プラン変更	324
・予防給付に変更	185
・新しい総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）に変更	139
終 了	84
・悪化	71
・改善	1
・死亡	7
・その他	5

介護予防サービス計画策定件数

居宅介護支援事業所	予防プラン	ケアマネA	ケアマネB
河北町社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所	181	46	0
指定居宅介護支援事業所 はつらつ	74	56	12
指定居宅介護支援事業所 ひいな	30	18	0
指定居宅介護支援事業所 ケアサポート紅寿	62	10	0
青空指定居宅介護支援事業所	7	7	0
新芽 居宅介護支援事業所	0	12	0
老人保健施設はくれい 居宅介護支援事業所	5	0	0
居宅介護支援事業所 つばさ	2	0	0
河北町地域包括支援センター	891	770	0
計	1,252	919	12

(2) 総合相談・権利擁護業務

相談件数

(訪問、電話、来所)

月	総合相談	権利擁護	高齢者虐待
4	166	5	4
5	166	4	3
6	145	0	7
7	131	0	7
8	158	4	2
9	150	4	8
10	176	1	23
11	165	1	24
12	170	0	8
1	171	1	10
2	203	2	12
3	197	3	5
計	1,998	25	113
合計	2,136		

相 談 内 容	件 数
総合相談	1,998
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	25(13)
高齢者虐待に関すること	113(14)
計	2,136

()は実人数

一人暮らし高齢者訪問調査数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	25	49	52	53	51	53	46	36	30	32	31	31	489

実人数408人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

事 業 内 容	回 数
地域ケア会議	10
困難事例ケース検討会議	10
包括支援センター業務打合せ	12
主任介護支援専門員情報交換会 (5/9)	1
ケアマネジャー研修会	3
1回目参加者	20名 (9/20)
2回目参加者	18名 (12/12)
3回目参加者	25名 (3/12)

その他の事業

1. 日本赤十字社 河北町分区	①日本赤十字社河北町分区 日本赤十字社河北町分区の事務局として、赤十字活動を推進した。 ②会費の収納 4, 899件 3, 442, 300円 ③各種講習会の開催(救急救命法、家庭看護法) ④災害見舞品等の配布 なし ⑤災害義援金・救援金の募集 ・ウクライナ人道危機救援金 33, 568円(募集中) ・令和6年能登半島地震災害義援金 582, 043円(募集中) ・2024年台湾東部沖地震救援金 135, 930円(終了) ・イスラエル・ガザ人道危機救援金 7, 175円(終了) ・令和6年7月25日からの大雨災害義援金 188, 657円(終了) ・令和6年9月能登半島大雨災害義援金 17, 579円(募集中) ・大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金 0円(募集中)	
2. 山形県共同募 金会河北町共同 募金委員会	山形県共同募金会河北町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施した。	

心配ごと相談所事業報告

単位：件

番号	相談事項	受付件数	処 理 状 況				
			解決	再来	民生委員	他機関	その他 (助言・指導)
1	生 計	1				1	1
2	年 金						
3	職業 生業						
4	住 宅	1					1
5	家 族	1					1
6	結 婚	1					1
7	離 婚	3				1	3
8	健康・保険・衛生	1					1
9	医 療						
10	人権・法律	18		2		1	18
11	財 産	32		5			32
12	事 故	3		1			3
13	児童福祉・母子保健						
14	教育・青少年						
15	心身障がい児・者福祉						
16	母子・父子福祉						
17	老人福祉	1					1
18	苦 情						
19	登 記	15		4			15
20	行 政	2					2
21	そ の 他	10		1		2	9
	合 計	89		13		5	88

※再来と処理状況とで重なっている。

たすけあい資金の貸付事業報告(平成27年度以降)

単位: 件 円

年度	貸付金		未償還金	
	貸付件数	貸付金額	未償還件数	未償還金額
27	0	0	0	0
28	0	0	0	0
29	1	100,000	0	0
30	0	0	0	0
令和元	2	56,000	1	27,330
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
5	1	70,000	1	70,000
6	0	0	0	0
合計	4	226,000	2	97,330

《公益事業》(事業区分)

1 社会福祉協議会福祉バス運営事業・河北町福祉バス運行業務

町から補助及び委託を受けて、福祉団体やいきいきサロン等の会議、研修視察等に係る交通手段の利便性と地域間交流の円滑化を図っている。

項 目	利用 件数	利用者数	走行距離	延走行距 離	燃料 消費量	自動車購入 年 月	備考
	(件)	(人)	(km)	(km)	(ℓ)		
1号車	142	2,210	9,812	121,911	2,595.12	H25. 3	
2号車	179	3,011	19,379	45,739	3,052.01	R4. 3	
合計	321	5,221	29,191	167,650	5,647.13		

2 河北町総合福祉センターの指定管理

平成21年4月1日から、指定管理者として総合福祉センターの管理運営を行っている。

項 目	
利用件数	2 8 7 件
利用人数	5, 0 3 8 人
電気使用量	6 4, 0 2 7 k w
電気料金	2, 7 9 7, 7 8 4 円
水道使用量	3 0 6 m ³
上下水道料金	2 3 6, 8 3 9 円